

三條南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



2010.10.4

No.1969
No.10



出席率	会員50名中40名
先々週の出席率	95.74%
ゲスト	三条信用金庫 神田優太さん 長谷川春樹さん
ビジター	三条RCより 斎藤弘文君
先週の メークアップ	9/29 巻RCへ 荻澤喜一郎君 9/29 三条RCへ 野崎正明君 佐々木常行君 谷 晴夫君 若井 博君 9/30 見附RCへ 荻澤喜一郎君 10/2 加茂RC創立50周年記念式典へ 馬場信彦君 荻澤喜一郎君 大溪秀夫君 野崎正明君 安達 裕君 赤塚 寧君 荒澤威彦君 馬場一敏君 平松修之君 野中 悟君 斎藤嘉一君 佐藤秀夫君 佐藤嘉男君 鈴木園彦君 鈴木 武君 田代徳太郎君 吉井正孝君 外・ジョイ・アフォソ君



会長挨拶

三條南ロータリークラブ 会長
大 溪 秀 夫

皆さん、こんにちは。

当会員の松崎孝史さんが、9月24日に十二指腸潰瘍で済生会三条病院に入院されましたので、野崎幹事とお見舞いに行っていました。経過は順調で、10月1日に退院されました。

9月は新世代のための月間でありました。後程、9月25日～26日のライラ研修セミナー(敬和学園)の報告があると思います。荒澤委員長、並びに永桶副委員長、ご苦労様でした。

また、9月30日(木)に、社会奉仕委員長の赤塚さん、副委員長の佐々木さん、野崎幹事と私の4人で國定市長のもとへ伺い、今年度の社会奉仕事業の一つであるAEDの寄贈の目録を贈呈してきました。すでに市内全小学校には設置されたので、市立図書館への設置となり、予定は10月中旬頃です。

そして、10月2日(土)は、加茂ロータリークラブ創立50周年式典へ十数名の会員の皆さんと出席してきました。いずれ来るであろう、我が南クラブの50周年事業に大変参考になったと思います。

話は変わりますが、この10月1日からタバコが値上げされました。セブンスター300円が440円と今までにない値上げ幅となりました。これを機会に禁煙する人、また、値上げまでにたくさん買いだめた人など、それぞれようですが、この9月28日に厚生労働省の研究班が、受動喫煙が原因で肺がん、或いは虚血性心疾患で死亡する成人が、6,800人に上ると発表しました。受動喫煙は、「室内かそれに準ずる環境で、他人のタバコを吸わされること」と定義されています。また、“副流煙”、

四つのテスト
言行はこれに照らしてから

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるか どうか



国際ロータリー会長 レイ・クリンギンスミス [アメリカ]
第2560地区ガバナー 東 山 昕 也 [高 田]
第4分区AG 荻澤喜一郎 [三条南]
会 長 大 溪 秀 夫
幹 事 野 崎 正 明
S A A 平 松 修 之

事務局 〒955-8666 三条市旭町2-5-10

三条信用金庫 本店内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp

これはタバコの先端から立ち上げる煙のことですが、この中により多くの有害物質が含まれています。

研究班によりますと、2005年に実施された調書を基にタバコを吸わない成人、約7,600万人のうち、女性（約4,800万人）の約30%と男性の（約2,800万人）の約6%は家庭で、女性の約20%と男性の約30%は職場で、それぞれ受動喫煙にさらされていると推定しています。

そして受動喫煙により、先ほどの肺がん、虚血性心疾患などの病気になる危険性が1.2～1.3倍になることが、疫学調査により明らかになっています。その結果、肺がん死亡した女性（年間18,000人）の約8%と男性（年間42,000人）の約4%の計6,800人は受動喫煙が原因と判断されました。女性が約4,600人、男性が約2,200人であり、職場での受動喫煙は男女とも約1,800人とのことであります。

また、プロ野球では、セ・リーグでは中日、パ・リーグではソフトバンクが優勝しました。この後、クライマックス・シリーズ、日本シリーズが始まりますので、しばらくはプロ野球から目が離せない日が続きそうです。

幹事報告



野崎 正明 幹事

2560 地区国際奉仕委員会より「一年交換学生」募集のご案内

- ・派遣先 アメリカ ドイツ ブラジル タイ他
- ・資格 ① 15～19歳の出発時高校在学中の者 ② 学業成績が中位以上の者
③ 心身ともに健康で一年の外国生活に適用できる者
④ 来日学生の受け入れ家庭となり得る者
- ・申込み方法 ① 留学の希望について両親、高校の了解を得た上で、申込み書を請求、10月末必着にて返送
② 11月中旬選考試験
- ・派遣時期 2011年8月下旬予定

□ 東山ガバナーを迎えての第四分区親睦交流会 開催のご案内(ご出席のお願い)

東山ガバナーからのご提案で、分区内の最終クラブ公式訪問後に「分区内合同親睦交流会」が三条東RC主管のもと、下記の通り開催されます。なお、当日は11月3日のお取り越しに「ご坊さま寄席」が開かれておりますが、そこでお話される三遊亭金時師匠をおよびし、ガバナーとともに分区の皆さんと楽しみたいとの企画です。この交流会が分区の「友絆」を結んでくれることを願い、南クラブからも多くの皆様のご出席をお願い致します。

(記)

- ・日時 平成22年11月 4日(木) 15:30～ ＊三条東RC公式訪問後
※11月1日(月)例会をこの親睦交流会に振り替えさせていただきます。
- ・会場 ハミングプラザVIP グランドホール (☎35-1143)
- ・スケジュール 15:00～ 受付 15:30～ 開会 歓迎の挨拶
16:00～17:00 第四分区寄席 落語 三遊亭金時師匠
17:00～19:00 ガバナーを囲んでの懇親会

委員会報告



職業奉仕委員会

野中悟委員長

職場例会

のご案内

10月は「職業奉仕月間」です。月間に際し、三条北RC山口龍二様のご好意により(株)タツミ見附工場にて『職場例会』を開催させていただきます。(株)タツミは、1978年創業、「地震に強い『木の家』をつくる接合金具のパイオニア」として躍進されておられます。当日は会社(工場)見学並びに概要等の講話をいただく予定です。

(記)

日 時 平成22年10月25日(月) 12:30～13:30(通常例会時間)

所在地 見附市今町8-3-1(国道8号線沿い) TEL 0258-66-5515

※ 現地集合、現地解散とさせていただきます。

※ 社員食堂を例会会場として使用させていただきます。また、南クラブ用に駐車場が用意されています。

当日は、委員会にて駐車場及び例会会場へ誘導、ご案内致します。

スケジュール 12:30 開会点鐘・食事・会長挨拶 ⇒ 12:45 会社説明
⇒ 13:00 社内(工場)見学 ⇒ 13:30 解散

ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

～ 10月4日 23,000円
今年度累計 234,000円～

大 溪 君 9月25日、26日はライラの研修でした。荒澤さん、永桶さんご苦労様でした。研修に参加された三条信用金庫さんのお二人もご苦労さまでした。また、2日の加茂RC50周年、大勢の皆さんに出席いただき有難うございました。

野 崎 君 ライラ研修に参加いただきました三条信用金庫の神田さん、長谷川さん、本日は宜しくお願い致します。若井さんご協力有難うございました。

丸 山 (征) 君 会長はじめ皆様には母の通夜に焼香して頂き有難うございました。感謝致します。

若 井 君 当金庫の職員2名をライラに参加させて頂き有難うございました。神田君、長谷川君、研修報告をよろしくお願い致します。

野 中 君 来る10月25日(月)は職場例会です。皆様のご出席をお願いします。

吉 田 君 誤飲性肺炎をほおっておいたら、入院期間が延びて先月末日によりやく退院出来ました。三条病院へ初めての入院でした。

鈴木 (圀) 君 加茂RC創立50周年記念式典後のハートフルコンサート、大変良かった！天気にも恵まれ、参加の市民の人達も喜んでいました。

吉 井 君 米山奨学生だったタキ君が半年ぶりに里帰りしました。土曜の加茂50周年にも出席させてもらい、大溪会長始め会員の皆様、事務局の長橋お姉様によりしくお伝えくださいとのことでした。楽しい2日間を過ごし、滑川に帰って行きました。有難うございました。

佐藤 (栄) 君 笑門来福・・・ ということでニコニコ銅冶君、西巻君、馬場(一)君、三野輪君、渡邊(光)君 BOXに協力いたします。

Speech

新世代のための月間



卓 話



第10回RYLA研修 9月25日(土)・26日(日) 於：敬和学園大学
テーマ「世界との友絆」…地域の未来を担う若人の集い…

研修プログラム

第 1 日 目

9:30～10:00 受付
10:00～11:00 開講式
11:00～12:00 研修<Ⅰ>敬和学園大学学長講演
12:00～12:30 オリエンテーション
12:30～13:30 昼食
13:30～15:30 研修<Ⅱ>ライラボール
15:30～18:00 研修<Ⅲ>ウォーク研修
19:30～21:00 懇親会
22:00 消灯

第 2 日 目

6:00 起床
7:00～ 8:00 朝食
8:00～ 9:00 移動 ホテルバス手配
9:00～12:00 研修<Ⅳ>スモールグループディスカッション
12:00～13:00 昼食
13:00～15:00 研修<Ⅴ> コンセンサスゲーム
15:00～15:30 閉講式 解散

「ライラ研修レポート」

三条信用金庫
神田 優太 さん

この度はライラ研修に参加させていただきありがとうございました。多くの貴重な経験をさせていただき、私にとって非常に充実した内容の濃い研修でした。

9月25～26日の2日間、新発田市にあります敬和学園大学にて行われ、ロータリアン・研修生含め100名以上が集まりました。同世代のローターアクトの方からロータリーの奉仕の精神、普段されている活動の实情をお聞きし、大変感銘を受けました。私自身もっと研鑽を怠らず努力しなければと、焦りの気持ちも感じました。

今回の研修テーマは、「世界との友絆(きずな)」ということで、留学生の方もいらっしゃいました。普段お話しする機会もなかなかございませんので、有意義な時間を過ごすことができました。

初日の研修では、まず敬和学園大学の鈴木学長様よりお話をいただきました。テーマは、「労働・奉仕の精神的背景」ということで、ロータリークラブが創設される背景にはキリスト教の倫理が影響していたのではと



内容でした。キリスト教の教えによる道徳的な生き方・労働を通して奉仕する精神を、世俗化・非宗教化した上でビジネスの世界へ発展させたのだということで、非常に興味深い内容でした。その中でも特に、奉仕の精神はビジネスの世界でも大きな実りをもたらすとおっしゃっていたのは印象的でした。今後の自分の仕事に対する姿勢に生かしていければと今思っております。

その後は体育館でグループでの自己紹介と簡単なゲームを行い、ウォーク研修がありました。ウォーク研修は宿舎までの約 12 キロの道のりを歩くというものでしたが、辿りつくまでに 3 時間ほどかかりました。大変でしたが途中仲間と様々な話をすることができましたし、終わった時には達成感でいっぱいでした。一緒に汗を流し、一緒に笑い、一つのことをやり

遂げたことで一層絆が深まったと思います。

2 日目は教室でのグループ討論と、グループ代表者の発表という内容でした。NASA で使われているゲームをグループのメンバーで解きましたが、一つの回答を出すことに苦労しました。グループとしての意見がまとまった時には達成感と安堵感が混ざったような不思議な気持ちでした。初日はぎこちなかったメンバーもグループとしてまとめ、活発な意見交換が行われました。このグループワークをもちまして研修の全日程を無事終えることができました。

以上が研修の内容ですが、この2日間は私にとって貴重な財産となりました。県内だけでなく世界から集まった仲間とのつながりを持てたことは非常に嬉しく感じました。今回の研修テーマ「世界との友絆」でしたが、人と人との絆を強く感じる事ができた研修でした。昨今は人間関係の希薄となった世の中とも言われますが、そんな時代に生きる私たち若者が、手を取り合い協力し合うことで共生していかなければと感じました。

以上私の感想であります。今回の経験を無駄にせず、今後に生かせるよう努力して参ります。貴重な経験をありがとうございました。

三条信用金庫

長谷川 春樹 さん

「ライラ研修に参加して」



この度はライラ研修に参加させていただきありがとうございました。これより研修会参加のご報告をさせていただきます。よろしくお願い致します。

今回の研修は「世界との友絆」をテーマのもと、新発田市の敬和学園大学で行われました。開講式の後、敬和学園大学の鈴木学長による講演を聞きました。そこではロータリークラブの背景にはキリスト教があり、形式的には鐘を鳴らすことや歌を歌うこと、精神的には奉仕を理念に掲げている点で共通点があることを学びました。

次に体育館で各グループに分かれ、お互いの名前を呼び、ボールを投げ合うゲームをしました。私のグループには中国の留学生が二人いて、初めて外国の方と話す経験ができました。

昼食を食べ、グループ全員で腕をクロスさせてつないだ手を外していき、最後は大きいひとつの輪にするゲームで汗を流しました。その後、大学から宿泊先の月岡温泉までウォーキングをしました。グループ毎にスタートし、グループのメンバーが揃ってゴールするというものでした。12 km という道のりは決して楽ではありませんでしたが、メンバーと楽しく話ながら無事ゴールできました。ホテルに着くと温泉へ入り、ウォーキングの疲れをとった後、懇親会で楽しく過ごすことができました。

翌日、再び敬和学園大学へ行き、各教室へ分かれ、二日目の研修がスタートしました。午前中は、各グループが政党となり、総理大臣に立候補するという内容でした。まずは党首となるため、3 つの施策をグループのメンバーへ発表していきました。そこで感じたことは、みなさん様々な考えを持っているということでした。さらには、中国の留学生の話も大変勉強になりました。党首を選出した後、首相の椅子を目指し、各グループの党首が投票者である、ロータリアンの方へ発表していきました。さらに、グループ毎に様々な考えを持ち、聞き手の心を掴むよう上手に話していたので、大変刺激になりました。

最後に宇宙で必要なもの 15 品目に順位をつけるゲームをし、グループでディスカッションし終了しました。

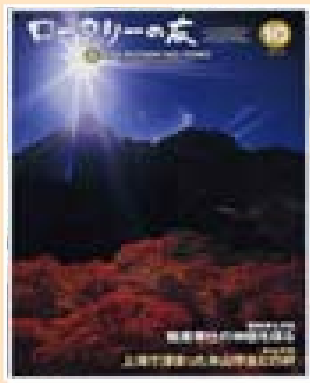
ロータリークラブの理念を学んだ上でスタートした研修は、初めて会う方ばかりで緊張しましたが、二日間でグループの雰囲気はどんどん良くなっていきました。国や職種の違う方でもお互いの考えを出し合い、団体行動で、協力し合うことによって仲良くなれることを学びました。

新しい発見ばかりで大変有意義な研修でした。大変ありがとうございました。



ロータリーの友

10月号紹介



ロータリーの友 10月号についてご紹介いたします。

- 1 横組みページから R1会長のメッセージの紹介 P1
2011年5月21日～25日に開催されるニューオリンズ国際大会についての説明
- 2 四つのテスト その由来をひもとく P11～13
ダレル・トンプソン（アメリカ・カリフォルニア州モローベイRC）
1932年、アメリカ人のハーバートJ. テーラー氏が会社を再建するため、社員に対し、四つのテストという職業人としての生活の模範的指針を作り、それを実行された。そして、その会社は再建され、1943年にロータリーはこの四つのテストを取り入れた。
- 3 ニューオリンズを訪れる10の理由 P24～31
文：アンドレ・コドレスク
NO.1 この街の誰もが自分の人生を物語ってくれる
NO.2 歴史 スペイン、フランス、アメリカ風のものに出会える
NO.3 食事…メキシコ湾原油流出事故により、貝類、タコ、イカの値段が跳ね上がった
NO.4 カクテルを考案した街 NO.5 ジャズ発祥の地
NO.6 ダンス NO.7 オーデュボン公園
NO.8 融合に関する感性 NO.9 カフェ
NO.10 わき道
- 4 縦組みページから キリマンジェロの雪が消える P2～6
立正大学名誉教授 立正大学前学長 高村 弘毅
2000年を境に気温が大幅に上昇した。温暖化にはCO₂以外の原因もある。CO₂が100ppm上昇しても0.4℃しか気温は上昇しない。温暖化による水資源の偏在化で食糧問題が発生する。水がなくなると野生動物の生態系に影響を及ぼす。
- 5 父の工場に入り浸っていたモノ作り大好き少年 布施光一さん
北辰機械（株）社長 （群馬県RC）
文：宮本 貢 写真：水村 孝
会社は生き物、何も手を打たなければ死んでしまう。
新規のダンボール事業が大ピンチを招いた時、心配した取引先から経理担当者が乗り込み、事業計画、資金計画を分析し、取引先が納入価格を引き上げてくれたためピンチを脱することができた。
- 6 新発田城のお堀の外来魚駆除のための釣り大会 P31～32
新発田城南RCの社会奉仕活動の様子。
代表的な外来種の一つ、ブルーギルの産卵期前に毎年行うことに
以上、興味深い記事をご紹介しました。皆さんもどうぞ一読下さい。

クラブ会報委員会 銅冶 康之

ROTARY NEWS



国際ロータリーニュース

2010年9月1日

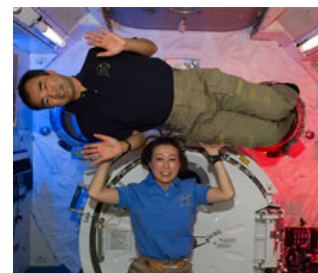
日本の元国際親善奨学生が宇宙飛行士に

日本人宇宙飛行士で、元国際親善奨学生である山崎直子さんは、子どものときから宇宙にあこがれていたと言います。故郷の千葉県松戸市では、毎晩のように星を観察していましたが、成長するにつれ、映画「スター・ウォーズ」やスペース・シャトルの打ち上げのテレビ中継によって、山崎さんの熱意はますますかき立てられました。

「この映画やテレビ中継の影響で、いずれはみんなが宇宙旅行をするのだらうと思っていました」と、日本人女性としてはまだ2人目の宇宙飛行士である山崎さんは語ります。

スペース・シャトル「ディスカバリー」の乗組員として、山崎さんは既に360時間を超える宇宙飛行歴を積みました。去る4月には、国際宇宙ステーションに向けた、ディスカバリーによる物資補給ミッションで、ミッション・スペシャリスト（搭乗運用技術者）として参加しましたが、この経験は山崎さんにとって特に意味深いものでした。

「私は、宇宙ステーションの開発チームの一員だったのです。日本、米国を始めとする15カ国が協力して国際スペース・ステーションを開発したというのは、実に感動的でした」



山崎さんの宇宙飛行士としてのキャリアの選択には、1994-95 年度にロータリー奨学生として国際プロジェクトに参加した経験が大きな影響を与えました。山崎さんは、千葉県の松戸中央ロータリークラブから派遣され、米国メリーランド州のメリーランド大学で宇宙ロボット工学を学びましたが、そこで一緒に研究をしていた世界中からの学生たちが、日本人の自分より日本と日本文化をよく知っていたことに驚かされました。この経験は、自分の母国のことだけではなく、客観的にものを見ることの大切さを教えるものとなりました。山崎さんは、この客観性は宇宙飛行士としての仕事にも大事だと考えています。



写真前頁：国際宇宙ステーションへの「ディスカバリー」の搭乗中、日本の実験モジュール「きぼう」で無重力状態を実演する山崎直子さんと野口聡一さん。日本人宇宙飛行士が2人で一緒に宇宙を旅したのは、歴史上これが初めてでした。写真本頁：山崎直子さん。
写真提供：宇宙航空研究開発機構（JAXA）

「地球を離れた場所から研究すると、とても学ぶことが多いのです」と山崎さんは語ります。

留学中にはまた、コミュニケーションのスキル、入念な準備、そしてチームワークの大切さも学んだと言います。これは、1996 年に日本の宇宙航空研究開発機構（JAXA）で宇宙飛行士としてのキャリアを始めたときにも生かされました。

宇宙計画で効率よく情報を共有し、協力し合うには、コミュニケーションが大事です」と山崎さん。「留学先で、特に外国語で意思の疎通をしようとする場合と同じですね」

実際に宇宙飛行をするに至るまでの道のりには、カナダ、日本、ロシア、米国での10年近い訓練がありました。基礎的な訓練を終えてからは、ロシアへ赴き、7カ月かけてロシアの宇宙船「ソユーズ」のフライト・エンジニア（航空機関士）の資格も取りました。

地球に戻ってからの山崎さんは、NASA への訪問、宇宙船の軌道を検討する専門家会議への参加、広報活動など、宇宙飛行の事後活動に携わっています。

「宇宙ステーションは2020年まで運行される予定ですから、もう一度行けるといいと思います」その日まで、山崎さんは宇宙ステーションやその他のミッションを地上からサポートしながら、自由時間ができたときには、大好きな映画のシリーズ、「スター・ウォーズ」を家族と楽しむつもりだということです。

加茂RC創立50周年記念式典

10月2日（土） 於：加茂市産業センター・文化会館



表紙について



ジュル・パスキン (1885～1930)

■「花束を持つ少女」

1925年
北海道立近代美術館

ロータリーの友 1988年1月号表紙より

三條南ロータリークラブ週報

2010.10.4

No.1969 No.11